

# 四季折々の詩

麻里布中学校  
令和8年3月24日 No.256  
Tel. 22-2234 FAX 22-2235



## 1年生対象「卒業生のお話を聴く会」

3月5日、本校を卒業した高校生16名を講師にお招きし、「卒業生のお話を聴く会」を開催しました。講師となった卒業生は、中学校に何度も足を運び打ち合わせをして当日を迎えました。会は二部構成で開催され、一部は全体会で、在籍校の高校生活や進路

選択にあたって考えたことを中心に、中学校生活を振り返って中学校の時にやっておけばよかったことなどの話をされました。二部は高等学校ごとに分かれて、各高校のカリキュラムや取得資格、部活動、先生との関わりなど、さらに深掘りをしました。1年生は、先輩方の熱い思いを聞き、先輩への憧れと、今の生活の大切さを実感していました。



## 2年生対象「高校説明会」

3月11日、進路選択の一つとして、

近隣9校の高等学校の先生方にお越しいただき、高校説明会を開催しました。今年度は、生徒が自分の興味関心に応じてしっかりと聴くことができるように、9校の中から3校を選択する形で実施しました。生徒は、興味がある学校を選択したためか、食い入るように説明を聞いていました。説明に来られた先生方は「熱心に聞いているので、説明に力が入った。」とおっしゃっていました。説明会後には、生徒同士の会話で高校進学が話題になっていました。3年生の夏休みには、各高校でオープンスクールが開催されます。そして、11月には受験校を決定することになります。今年度から、公立高校では、自分の意思で主体的に出願校を選択するための制度『特色選抜』がスタートしました。早くから将来を見据えた高校選択をし、その進路の実現に向けて、自己の学びを見つめ直すきっかけになったのではと感じています。



## 同窓会入会式

3月4日、卒業に先立ち麻里布中学校同窓会入会式が開催されました。杉岡 滋会長から、卒業生に対して「誠実」「光陰矢の如し」の言葉が贈られました。『嘘をつかないこと。約束を守ること。頼まれたことは断らないこと。』これらにより社会生活の中で、豊かな生活を送ることができる。時間はあっという間に過ぎていくので、一日一日を大切に過ごしてほしい。』と話されました。本校の同窓会は、たいへん活発に活動されており、教育講演会や教育活動に必要な物品の寄贈、朝のあいさつ運動、面接指導など日常的に学校支援をいただいています。今年、16名が同窓会に加わりました。同窓会がさらに発展されるよう願っています。



## 第70回卒業証書授与式

3月7日、本校第70回卒業証書授与式が挙行されました。前日の雨から一転、快晴にも恵まれ、晴れやかで温かな雰囲気となりました。卒業生代表の答辞には、中学校入学時の不安な気持ちからスタートし、様々な教育活動を通して、人と関わり充実した生活を送ることができた感謝の言葉が綴られていました。そして、地域の皆様への感謝の言葉と共に、自分が地域の担い手として、帰ってくる時の強い言葉もありました。その思いを胸に卒業生全員で合唱「友～旅立ちの時～」を歌い上げました。麻里布中学校70年の歴史は、地域の皆様から今の子どもたちへしっかりと受け継がれています。



## 岩国篆刻作品展

2月21日～22日、岩国篆刻会主催の篆刻作品展が岩国市民会館展示室で開催され、本校3年生の作品が展示されました。本校では、美術科の授業の中で岩国篆刻会の方を講師にお招きし、篆刻の歴史や篆刻の基礎を学び制作に取り組みました。篆刻と岩国市の関わりは歴史的に深く、岩国市として中学生の作品を見てもらうことを通して篆刻を広めたいとの思いから、この度の展示会の開催となりました。



## 先生たちも勉強

岩国市の中学生は、来年度から学習活動で使用する端末がiPadからChromebookに変更になります。使用するアプリケーションも変更になることから、4月に備え、先生方が研修を受けました。生徒のみなさんの学習環境がより良いものになるように先生方も努力しています。



## 令和7年度修了式校長式辞

1年生・2年生の代表に修了証を渡し、皆さんがこの1年間の課程を無事に修了したことを大変うれしく思います。今年は東日本大震災から15年という節目の年であり、世界では今も戦争によって命を落としたり、避難生活を強いられたりする人がいます。その中で、修了の日を迎えられることのありがたさを改めて感じます。

今年度は、「一人ひとりが自分の立場を意識し、その場に合った最善の行動をとること」を意識してほしいとの願いを込めて、一年間話をしてきました。卒業式の準備や片付けでは、先輩の卒業を祝う心が行動に表れており、皆さんの成長を感じました。また、地域の方々からは、あいさつがよくできることや、生徒会の話し合いでのしっかりした考えに感心したという声も寄せられています。こうした評価は皆さんの力によるものです。4月から一学年進級し、さらに成長した力で、より良い学校をつくっていきましょう。

